

課長	係長	係員

工事安全対策自己点検チェックリスト

※本チェックリスト及び担当課意見は施工現場における受注者(安全管理責任者)を支援するものであり、チェックリストに当該工事現場に必要な項目を作成、活用し安全対策の充実を図るものであります。個別の現場の安全対策を規定するものではありません。

点検日： 年 月 日 点検者：
 起工番号：
 工事名： 工事
 請負業者： 主任(監理)技術者：

項目	細別	チェック項目	チェック欄
安全点検項目	立入り禁止措置	作業中の区域は、周囲と明確に分けるため、さく等で隙間なく囲っているか	
		関係者以外立入禁止の表示をしているか	
		資材置場はさく等で囲っているか	
		建設機械の作業範囲の立入禁止処置、または誘導員による接触防止対策をとっているか。	
	服装・保護具	夜間及び暗闇(隨道・建物内部等)作業場所には必要な照明器具が設置されているか	
		作業に応じた安全靴を着用しているか	
	全般	ヘルメット未着用、袖まくり等の服装のみだれはないか	
		異常気象時の対策は十分か(雨、風、避難経路の確認等)	
		掘削は安全な勾配か。	
		作業に応じて、必要な作業指揮者・監視員等を配置しているか。	
		掘削肩付近に物を置いていないか。	
		立木の伐倒について合図を決めて作業しているか。危険を生じる恐れがあるものを取り除いているか。	
公衆災害防止項目	車両	一般車両が通行する箇所の段差対策をしているか	
		ガードマンは適切に配置しているか	
		運搬車両の過積載は行っていないか	
	歩行者	歩行者の通行を開放している箇所の段差には、段差対策と注意喚起等の表示をしているか	
		歩行者の通行に危険な箇所(端部からの転落、突起物等)には、柵、危険表示等をしているか	
		バス停利用者等の安全を確保しているか	
		立坑等の開口部は、転落防止の開口注意表示、及び作業終了時の安全ネットを設置しているか	
	架空線・埋設管	架空電線の保護(カバー)はなされているか	
		電気ケーブルが車両通行区間を横断する箇所はカバー等による防護を行っているか	
		電線の接地(アース)工事を確実に行なっているか	
各作業災害防止関係 労働災害防止項目		埋設管等の確認・協議は行っているか	

担当課意見欄	

※記入例 良：○ 否：× 該当なし：—

※行が足りない場合追加してください。

(記入方法)

- 項目の「安全点検項目」、「公衆災害防止項目」についてはチェック項目に沿ってチェックをしてください。
- 項目の「各作業災害防止項目」については、現在の作業工程(概ね1ヶ月程度)における主な作業における点検項目を作成してください。

【手順】

- (1) 点検時(直近1ヶ月程度)の工程に合わせ対象となる工種を記入する。
- (2) 細別、チェック項目に工種に必要な安全点検項目を記載しチェックを行う。
他のチェックシート等(参考: 安全確認チェックシート(建設機械施工安全マニュアル 国土交通省))を用いる場合、細別チェック項目にその対象工種を記入し、チェック項目には別紙と記入する。
- (3) 他のチェックシートを使用する場合は、用紙を資料に添付する。

※建設機械施工安全マニュアルは県土整備部のHP「土木関連情報リンク」からダウンロードできます。

(提出)

- チェックリストを作成・更新した時点で提出して下さい。
- 毎月1回チェックリストによる安全点検実施結果を「安全・訓練等活動報告書」と合わせ提出して下さい。